

認知症ケアを問い直す:

人間らしくあるということ ～ユマニチュード～

「孤立防止のための自助・互助強化プログラム開発」プロジェクト
2016年度シンポジウム

Yves GINESTE
イヴ・ジネスト

2017年3月5日(日) 13:00～17:30 (開場 12:30～)

『認知症の人と共に支えあって生きていく地域づくり』は、現代社会において、重要なテーマとなっています。認知症の人と共に
よりよく生きていく知恵と一緒に学んでみませんか。京都大学こころの未来研究センターで2014年10月より開講している「くらしの学び庵」の拡大版として、フランスで考案されたケア技法である「ユマニチュード」をテーマに、考案者のイヴ・ジネスト氏を
お招きして講演会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

13:00～13:10 開会挨拶

吉川左紀子(京都大学こころの未来研究センター長・教授)

13:10～13:40 基調講演①

『日本のケアを切り拓くーユマニチュードの価値と意義ー』

本田美和子(国立病院機構東京医療センター総合内科医長/医療経営情報・高齢者ケア研究室長)

13:40～15:00 基調講演②

『ユマニチュードのもつ可能性と未来』

イヴ・ジネスト(ジネスト・マレスコッティ研究所長)

※講演には逐次通訳(仏・日)が入ります。 フランス語通訳: 高野勢子

15:00～15:15 休憩

15:15～15:35 認知症ケアの未来①

『情報科学から見たユマニチュード』

中澤篤志(京都大学情報学研究科知能情報専攻准教授)

15:35～15:55 認知症ケアの未来②

『心理学から見たユマニチュード』

吉川左紀子(京都大学こころの未来研究センター長・教授)

15:55～16:15 認知症ケアの未来③

『医療福祉学から見たユマニチュード』

清家 理(京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門特定助教)

16:15～16:30 休憩

16:30～17:30 ディスカッションおよび質疑応答

『認知症ケアの未来を切り拓くー人間らしくあることを支えるためにー』

【登壇者】

イヴ・ジネスト(ジネスト・マレスコッティ研究所長)

本田美和子(国立病院機構東京医療センター総合内科医長/医療経営情報・高齢者ケア研究室長)

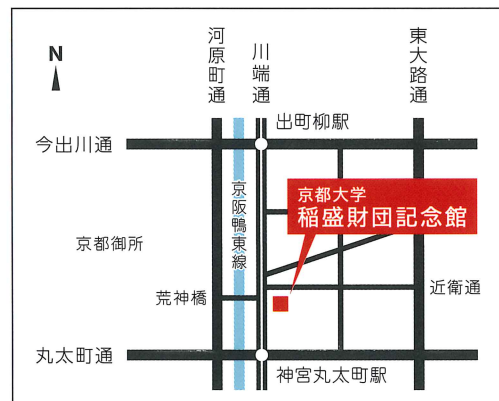
中塚 晶博(京都大学東南アジア地域研究研究所人間生態相関研究部門連携准教授、柳原白鳳病院神経内科医)

大久保直樹(国立長寿医療研究センターもの忘れセンター副看護師長)

主催: 京都大学こころの未来研究センター

後援: 京都市、京都市教育委員会、京都府、京都地域包括ケア推進機構

文部科学省 地(知)の拠点整備事業、公益財団法人ひと・健康・未来研究財団



京都大学稲盛財団記念館3階大会議室

京都市左京区吉田下阿達町46(荒神橋東詰)

◎市バス:205系統、4系統で「荒神口」下車、徒歩5分

◎京阪:「神宮丸太町」より川端通北へ徒歩5分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

対 象: どなたでもご参加いただけます。

定 員: 150 名(申込による先着順)

参加費: 無 料

■ 申込方法

E-mail または FAX にてお申込ください。

件名に「学び庵シンポジウム 申込み」と明記し、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

■ 必要事項

① 氏名(ふりがな) ② 所 属・職 名 ③ ご連絡先

※定員に達し、ご参加頂けない場合のみ、ご連絡差し上げます。

■ 申込先／連絡先

京都大学 こころの未来研究センター
リエゾンオフィス(平日9時～17時)

MAIL: kokoro-event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

FAX: 075-753-9680 TEL: 075-753-9681



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER・KYOTO UNIVERSITY
こころの未来研究センター



文部科学省
地(知)の拠点